

# 取扱説明書

## バッテリー・チャージャー

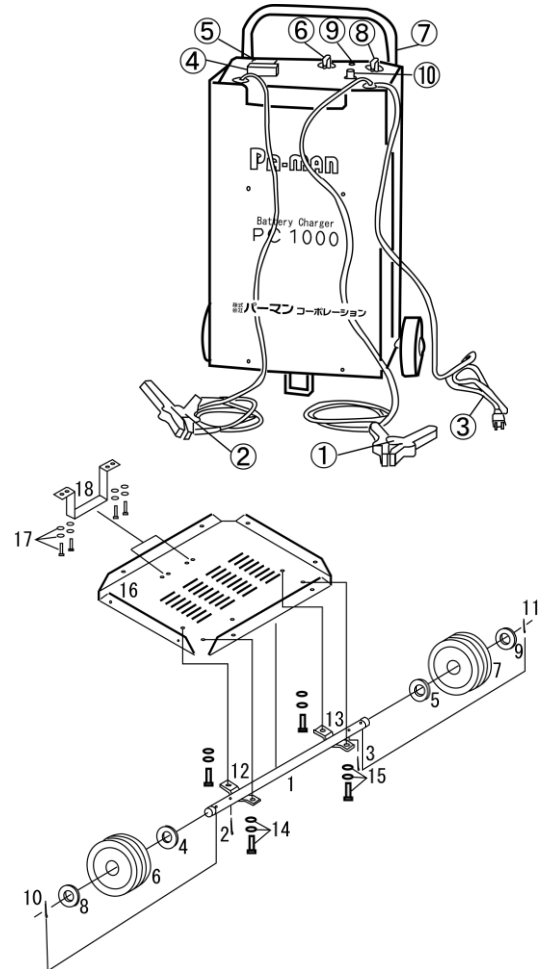
品番：#33425000 型式：PC1000

### 1, 各部名称

- ①赤色クリップ
- ②黒色クリップ
- ③電源プラグ (AC100V 50/60Hz)
- ④出力側ヒューズ (80A×2)
- ⑤充電電流計
- ⑥電圧切替スイッチ
- ⑦ハンドル
- ⑧CHARGING AMP
- ⑨POWERランプ
- ⑩TIMER

### 2, 組立方法

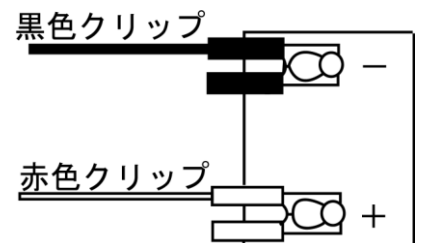
- 1, ⑦ハンドルを付属の4セットのナベねじと平ワッシャを使用して、本体背面に確実に取り付けして下さい。
- 2, 18, ボトムシェルフを、16, 底板に4セットの17, ボルト、スプリングワッシャ、平ワッシャを使用して確実に取り付けして下さい。
- 3, 1, 車軸を、12, 13, 車軸固定プレートと各2セットの14, 15, ボルト、スプリングワッシャ、平ワッシャを使用して、16, 底板に確実に取り付けして下さい。そして、1, 車軸の内側の穴に2, 3, 割りピンを挿入して曲げて下さい。
- 4, 1, 車軸の両サイドから4, 5, 平ワッシャ、6, 7, 車輪、そして8, 9, 平ワッシャの順番に通して下さい。
- 5, 1, 車軸の外側の穴に、10, 11, 割りピンを挿入して曲げて下さい。



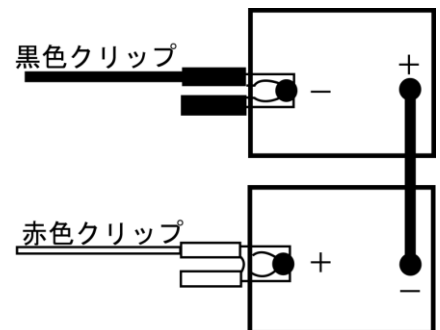
### 3, 充電方法

※ご使用になるバッテリーの取扱説明書も参考にして、充電を行なって下さい。

- 1, 充電するバッテリーが車輻に搭載されている場合は、最初にマイナス端子を外し、続いてプラス端子を外して下さい。
- 2, バッテリーのキャップ (液栓) を、全て取り外して下さい。
- 3, バッテリー液が減っている場合は、適正值まで補充して下さい。
- 4, ⑥電圧切替スイッチが「OFF」、⑧CHARGING AMPのレバーが「0」になっている事を確認して下さい。
- 5, バッテリーの公称電圧 (DC12/24V) を確認して、最初に①赤色クリップをバッテリーの陽極端子 (プラス) に、続いて、②黒色クリップをバッテリーの陰極端子 (マイナス) に外れないように挟んで下さい (右図参照)。
- 6, ③電源プラグを家庭用コンセントに接続して下さい。
- 7, ⑧CHARGING AMPを、1~4の何れかに切り替えて下さい。数字が大きくなると充電電流が高くなり、急速充電になります。
- 8, ⑩TIMERで充電時間を指定して下さい。充電時間は0~60分までと、「0」から反時計回転方向に回し、NONSTOPの位置にすると連続充電が出来ます。
- 9, 全てが確実に設定、接続されている事を再度確認して下さい。
- 10, ⑥電圧切替スイッチを充電するバッテリーの公称電圧に合わせて、12V、又は24Vに切り替えると充電を開始し、充電電流が、⑤充電電流計に表示されます。
- 11, 充電時間は、次ページの「4, 充電電流表」を参考にして下さい。
- 12, 定期的に充電状態をチェックして下さい。必要以上に長時間充電しないで下さい。本機は、バッテリーが満充電になっても、充電出力は止まりません (TIMERが、「0」になると充電は停止します)。
- 13, 充電完了後は、⑥電圧切替スイッチを「OFF」にし、⑧CHARGING AMPを「0」にして、③電源プラグを抜いて下さい。
- 14, バッテリーに接続している①赤色クリップと②黒色クリップを取り外して下さい。
- 15, 充電したバッテリーを車輻に搭載する場合は、最初にプラス端子を取り付け、続いてマイナス端子を取り付けて下さい。



DC 12V接続



DC 24V接続

#### 4, 充電電流表

※下記充電時間は、目安です。充電するバッテリーの状態により調整して下さい。急速充電の場合、⑧CHARGING AMPを3～4、定格充電の場合は1～2にダイヤルをセットして下さい。

バッテリー容量	急速充電電流	急速充電時間	定格充電電流	定格充電時間
200Ah	40A以上	4～5時間	15～20A	10～14時間
100Ah	40A以上	2～3時間	8～12A	8～12時間
60Ah	30A以上	2～3時間	6～8A	8～10時間
40Ah	20～30A	1.5～2時間	4～6A	8～10時間
22Ah	10A	2時間	2～3A	10時間
10Ah	8A	1～2時間	1.5～3A	6～8時間

#### 5, 注意事項

##### △危険（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う事になるもの。）

- ・⑥電圧切替スイッチは、充電するバッテリーの公称電圧に合わせて設定して下さい。異なる公称電圧で充電すると、本機やバッテリーの発熱、爆発する原因になります。
- ・クリップをバッテリーから取り外す時は、必ず⑥電圧切替スイッチが「OFF」、⑧CHARGING AMPが「0」になっている事を確認して下さい。
- ・ニッカド、リチウム、ニッケル水素バッテリー等には、充電しないで下さい。
- ・充電中に①赤色クリップ、②黒色クリップの取り外しは、絶対にしないで下さい。

##### △警告（この警告文に従わなかった場合、死亡、又は重傷を負う危険性のあるもの。）

- ・刺激臭がした場合は、バッテリーが爆発する恐れがあります。直ちに⑥電圧切替スイッチを「OFF」、⑧CHARGING AMPを「0」にし、バッテリーからクリップを取り外し、換気を良くして、その場から離れて下さい。
- ・充電する場合は、必ず手袋と安全眼鏡を装着して下さい。
- ・作業は、屋内の換気の良い場所で行なって下さい。
- ・周囲に可燃性物質、爆発性ガスが無い事を確認して使用して下さい。
- ・バッテリー液が手に付いた場合は流水で洗い流して下さい。又、目や口に入った場合は、速やかに流水で洗い流し、医師の診断を受けて下さい。
- ・本機内部に金属棒や、導電性のある物を挿入しないで下さい。ショート、スパーク、本機破損の原因になります。
- ・本機で充電出来るバッテリーは、自動車用鉛バッテリーのみです。密閉バッテリー、バイク及び、同等の小型バッテリーには使用出来ません。
- ・本機への電気の供給はAC100V 50/60Hzです。その他の電圧では、使用しないで下さい。
- ・本機の通風口を塞いで使用しないで下さい。
- ・バッテリー充電中は、バッテリー内部から気泡が出ます。この気泡に火気が引火すると、バッテリーが爆発する危険があります。絶対に火気を近付けないで下さい。
- ・直射日光が当たる場所や、高温になる場所では使用しないで下さい。
- ・⑥電圧切替スイッチが12V、又は24Vの状態、①赤色クリップと②黒色クリップを導電性のある物の上に置かないで下さい。火災の原因になります。

##### △注意（この警告文に従わなかった場合、ケガを負う恐れのあるもの、又、製品に重大な破損を招く恐れのあるもの。）

- ・変形したバッテリーや、不良バッテリーには使用しないで下さい。
- ・複数のバッテリーを同時に充電しないで下さい。
- ・充電中は、子供、乳幼児が近付かないよう注意して下さい。
- ・ケーブル、電源コードは無理に引張らないで下さい。又、無理に折り曲げたり、上に物を載せないで下さい。
- ・本機はバッテリー充電器です。セルスタート機能はありません。
- ・本機の分解、改造、及び修理はしないで下さい。
- ・本機に異常、故障がある場合は、直ちに使用を中止して下さい。
- ・出力側ヒューズが溶断した場合は、付属のヒューズ、又は同等ヒューズと交換して下さい。他のアンペアのヒューズは絶対に取り付けしないで下さい。出力側ヒューズは80A×2ヶです。
- ・クリップ、コードの被膜に傷、剥離がある場合は、使用しないで下さい。
- ・陽極、陰極を間違えない様に、バッテリーに接続して下さい。
- ・①赤色クリップと②黒色クリップを接触させないで下さい。ショートします。
- ・本機は温度サーモ保護機能を備えています。本機が一定以上の熱を持った場合、自動的に充電を停止します。自然冷却後、改めて充電を再開して下さい。
- ・水を掛けたり、濡らしたりしないで下さい。又、濡れた手で使用しないで下さい。
- ・電源コードは引張らず、プラグを確実に持って取り外して下さい。
- ・バッテリー端子が腐食している場合は、腐食部分を取り除いてから充電して下さい。
- ・塩害、塵灰害、化学性ガス等の影響の受ける場所では使用しないで下さい。
- ・車輛のトランクルームなど振動の多い場所に保管しないで下さい。
- ・充電時間は、「4, 充電電流表」を参考にして下さい。必要以上に長く充電すると、バッテリーの液漏れ、液枯れ、発熱、変形の原因になります。